令和７年９月１０日

工学部 令和６年度入学者
（主に電気電子工学コース） 各位

工学部事務課学務チーム

履修の手引き（令和６年度入学者適用）の差し替えについて
【第一級陸上無線技術士（電波法）／電気主任技術者（電気事業法)】

履修の手引き（令和６年度入学者適用）の６.「その他の資格について」のうち、「第一級陸上無線技術士（電波法)」（６３ページ）及び「電気主任技術者（電気事業法)」（６４ページ）について、下記の通り差し替えます。

第一級陸上無線技術士（電波法）

電気電子工学コースの卒業生で、在学中に次の関係科目を修得した者は、卒業の日から３年以内に限り、国家試験の科目のうち「無線工学の基礎」を免除されます。

▼取得すべき授業科目等

認定基準に規定する科目		（令和６年４月入学、令和１０年３月卒業者から対応） 卒業生が履修する科目並びに時間 令和６年度課程表	単位数	時間数	卒業要件の選択 必修の別	備　考
基礎専門教育科目	数　学	微積分Ⅰ　※１	4	45(60)	必　修	210時間以上の単位を取得すること。
		線形代数Ⅰ　※１	2	22.5(30)	必　修	
		線形代数Ⅱ　※１	2	22.5(30)	必　修	
		微積分Ⅱ　※１	2	22.5(30)	必　修	
		電気電子数学Ⅰ	2	22.5(30)	必　修	
		電気電子数学Ⅱ	2	22.5(30)	必　修	
		微分方程式	2	22.5(30)		
		情報数学　※３	2	22.5(30)		
		材料数学　※３	2	22.5(30)		
		確率・統計学　※３	2	22.5(30)		
		応用数学Ⅰ　※４	2	22.5(30)		
		応用数学Ⅱ　※４	2	22.5(30)		
		統計解析　※４	2	22.5(30)		
		応用数学Ⅲ　※４	2	22.5(30)		
		微分方程式Ⅰおよび同演習　※５	3	45(60)		
		微分方程式Ⅱ　※５	2	22.5(30)		
	物　理	機械基礎力学　※３	2	22.5(30)		**105時間以上の単位を取得すること。**
		連続体の力学　※３	2	22.5(30)		
		化学熱力学　※３	2	22.5(30)		
		流体力学Ⅰ　※６	2	22.5(30)		
		材料力学Ⅰ　※６	2	22.5(30)		
		物理基礎Ⅰ　※２	1	11.25(15)	必　修	
		物理基礎Ⅱ　※２	1	11.25(15)	必　修	
		電子物性	2	22.5(30)		
		放電物理	1	11.25(15)		
		プラズマエレクトロニクス	1	11.25(15)		
	電気磁気学	電気磁気学Ⅰ	2	22.5(30)	必　修	120時間以上の単位を取得すること。
		電気磁気学Ⅱ	2	22.5(30)	必　修	
		基礎電磁気学　※３	2	22.5(30)		
		電気電子工学演習Ⅰ	1	22.5(30)	必　修	
		電気電子材料　※３	2	22.5(30)		
		電気機器Ⅰ	2	22.5(30)		
		電気機器Ⅱ	2	22.5(30)		
	半導体及び電子管並びに電子回路の基礎	半導体工学	2	22.5(30)		90時間以上の単位を取得すること。
		電子デバイス	2	22.5(30)		
		電気電子工学演習Ⅱ	1	22.5(30)	必　修	
		アナログ電子回路	2	22.5(30)		
		ディジタル電子回路	2	22.5(30)		
	電気回路	電気回路Ⅰ	2	22.5(30)	必　修	120時間以上の単位を取得すること。
		電気回路Ⅱ	2	22.5(30)	必　修	
		過渡現象	2	22.5(30)		
		くらしの中の電気　※３	2	22.5(30)		
		送配電工学	2	22.5(30)		
		制御工学	2	22.5(30)		
		高電圧工学	2	22.5(30)		
	電気磁気測定	電気電子工学実験Ⅰ	2	60(60)	必　修	180時間以上の単位を取得すること。
		電気電子工学実験Ⅱ	2	60(60)	必　修	
		電気電子工学実験Ⅲ	2	60(60)	必　修	
		電磁波工学	1	11.25(15)		
		無線工学	1	11.25(15)		
		電気電子計測	2	22.5(30)		

※　１　共通教育科目
※　２　工学共通基礎科目
※　３　専門入門科目
※　４　コンピュータ科学コース、応用情報工学コースの専門基礎、専門応用科目
※　５　材料デザイン工学コースの専門基礎科目
※　６　機械工学コース、知能システム学コースの専門基礎科目

注　１コマが90 分の授業科目については、90/120 により実時間に換算した時間数を記載している。
（カッコ内の数字は、シラバスの単位に応じた時間数を記載）
「認定基準に規定する科目」ごとに、各授業科目の実時間数の合計が備考欄に指定された時間数以上となるように取得すること。

（主務官庁　総務省）

電気主任技術者（電気事業法）

電気電子工学コースの卒業生で在学中に必修科目全てを含む次の関係科目を修得し、卒業後５万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が５年以上の場合は、第一種電気主任技術者、１万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が3 年以上の場合は、第二種電気主任技術者免状取得の資格が得られます。

▼取得すべき授業科目等

Ⅰ．資格試験免除のための必要な単位数

①	電気工学又は電子工学等の基礎	17単位以上
②	発電、変電、送電、配電及び電気材料	7単位以上
③	電気機器、応用、自動制御、情報伝送	10単位以上
④	法規	1単位
⑤	電気実験、電気実習	6単位以上
⑥	電気電子機器設計、製図	2単位以上
	合　　計	43単位以上

注）　②と④は合算した単位数が８単位以上を満足すればよいものとする。

Ⅱ．各区分に対応する授業科目

①電気工学又は電子工学等の基礎　（17 単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
◎	基礎電磁気学　※	2
◎	電気磁気学Ⅰ	2
◎	電気磁気学Ⅱ	2
◎	電気回路Ⅰ	2
◎	電気回路Ⅱ	2
◎	過渡現象	2
◎	電気電子計測	2
	半導体工学	2
	電子デバイス	2
	電子物性	2
	アナログ電子回路	2
	ディジタル電子回路	2

②発電、変電、送電、配電及び電気材料（6 単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
◎	発変電工学	2
◎	送配電工学	2
	放電物理	1
	プラズマエレクトロニクス	1
	高電圧工学	2
	電気電子材料　※	2

③電気機器、応用、自動制御、情報伝送（10 単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
◎	電気機器Ⅰ	2
◎	電気機器Ⅱ	2
◎	制御工学	2
◎	パワーエレクトロニクス	2
	無線工学	1
	情報理論（電気）	2
	アナログ通信	2
	ディジタル通信	2
	通信工学概論	2
	くらしの中の電気　※	2

④法規（１単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
◎	電気法規及び施設管理	2

⑤電気実験、電気実習（6 単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
◎	電気電子工学実験Ⅰ	2
◎	電気電子工学実験Ⅲ	2
	電気電子工学実験Ⅱ	2
	電気電子工学演習Ⅰ	1
	電気電子工学演習Ⅱ	1

⑥電気電子機器設計、製図（2 単位以上）

必　修	授　業　科　目	単　位
	電気機器設計製図	2

（注）　※印の付されている授業科目は「専門入門科目」です。

（主務官庁　経済産業省）

令和６年12月20日

工学部学生各位

工学部教務委員会

教育課程表への科目の追加・科目名変更・分類変更について

機械工学コース・知能システム学コースの教育課程表に下記の科目の追加・削除を行う。

記

令和6年度入学者　教育課程表　機械工学コース・知能システム学コース

分類		必修	科目名	単位数	週授業時数																備考
					１年				２年				３年				４年				
					前		後		前		後		前		後		前		後		
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
専門教育科目	専門基礎科目		船舶工学入門	2					2	2											専門応用から専門基礎へ分類変更・科目名変更
			海洋工学入門	2							2	2									専門応用から専門基礎へ分類変更
	専門応用科目		船舶性能入門	2											2	2					専門基礎へ分類変更のため、削除
			海洋工学入門	2											2	2					専門基礎へ分類変更のため、削除
			海事技術	2									2	2							追加
			基礎材料強度学	1											2						追加
			船舶性能基礎	1												2					追加

※平成30年度～令和4年度入学生については、「船舶工学入門」を「船舶性能入門」の読替科目とする。

令和６年５月16日

工学部学生各位

工学部教務委員会

教育課程表への科目の追加・科目名変更について

電気電子工学コースに下記科目を追加する。

記

令和６年度入学者　教育課程表　電気電子工学コース

※網掛けはクォーター科目を表す。

分類		必修	科目名	単位数	週授業時数																備考
					１年				２年				３年				４年				
					前		後		前		後		前		後		前		後		
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
専門教育科目	専門基礎科目		放電物理	1					1	1											
	専門応用科目		プラズマエレクトロニクス	1											1	1					

また、電気電子工学コースの科目名を下記の通り変更する。

令和６年度入学者　電気電子工学コース専門応用科目

（変更前）
高電圧プラズマ工学

（変更後）
高電圧工学

※2019年度～令和５年度入学者については、高電圧工学を高電圧プラズマ工学の読替科目とする。